第73回高知県芸術祭事業実施報告書

発行日　令和6年3月22日

発　行　高知県芸術祭執行委員会
高知市高須353-2（公益財団法人高知県文化財団）
TEL 088-866-8013　FAX 088-866-8008

印　刷　筒井紙業印刷株式会社
高知市石立町158　TEL 088-831-6569

令和5年度 第73回高知県

芸術祭

KOCHI ART FESTIVAL 2023

事業実施報告書

令和5年
9.16[土]▶12.17[日]　県民の文化芸術活動を支援・発信していきます。

イラスト：西山まりこ

目次

第73回高知県芸術祭を顧みて
高知県芸術祭執行委員会　委員長　新納朋代 1

第73回高知県芸術祭 概要 2

助成事業「KOCHI ART PROJECTS 2023」
申請要項・選考結果・実施報告 4

助成事業「KOCHI ART PROJECTS 2023」
事業報告会 13

第52回高知県文芸賞
応募状況等・受賞者一覧 14

プレイベント「土佐女子中学高等学校書道部パフォーマンス」 17

第73回高知県芸術祭オープニングイベント 18

メインイベント「国際音楽交歓コンサート2023 高知公演」 18

共催行事 20

協賛行事 24

高知県芸術祭執行委員会　委員名簿 32

第73回高知県芸術祭を顧みて

高知県芸術祭執行委員会　委員長　新納 朋代

今年で73回目を迎えました『高知県芸術祭』は、広く県民が芸術に親しみ、高知の文化芸術の魅力を再発見、発信する期間として毎年秋に開催しております。これまで多くの方々の温かいご支援、ご協力により無事に開催し続けてこられましたことに、改めて厚く御礼を申し上げます。

今年度は、9月16日（土）～12月17日（日）の約3か月間にわたり、4つの主催事業をはじめ、助成事業「KOCHI ART PROJECTS」13、共催行事16、協賛行事49の計82行事が実施され、参加者総数は133,523人＊となりました。

主催事業としまして、昨年に続き高知市帯屋町商店街でプレイベント「土佐女子中学高等学校書道部パフォーマンス」を開催し、会場は多くの来場者で賑わいました。さらにイベントの様子は各報道機関で取り上げられ、芸術祭の開幕を広く周知することができました。またオープニングイベントは、県立高知城歴史博物館と県立のいち動物公園の屋外スペースで開催し、県内在住アーティストによる邦楽や大道芸、絵画等を幅広い層の方々にご観覧いただきました。そしてメインイベント「国際音楽交歓コンサート2023　高知公演」を本山町プラチナセンター・文化ホールと県立美術館ホールで開催し、世界を舞台に活躍する一流のアーティストによる演奏や歌声をお届けすることができました。

このほか、短編小説・詩・短歌・俳句・川柳の5つの部門におきまして、県内の多くの方々から応募をいただいております「高知県文芸賞」は今年で52回目となりました。5部門で延べ695人から1,850作品の応募がありました。文芸賞及び文芸奨励賞に小中学生を含む27人の方々が選ばれ、佳作には32人の方々が選ばれました。今年度の応募作品数は過去2番目に多く、初めてご応募をされるといった方々からのお問い合わせも例年より多く頂戴しました。今後も、多くの方々に文芸創作活動に取り組んでいただけるよう、より一層広報等に力を入れていきたいと思います。

本報告書は、第73回高知県芸術祭の成果をまとめております。現代の芸術文化政策は個人の趣味としての鑑賞機会の提供のみならず、まちづくりや観光、教育、国際交流、産業その他分野との緊密な連携がなされています。こうした状況を背景に、「芸術祭」のあり方はまだまだ検討の余地があるといえるでしょう。“進化し続ける芸術祭”を目指し、新しいアイデアも取り入れていきたいと思っておりますので、今後ともご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

＊事業数・参加人数
◆主催事業
プレイベント「土佐女子中学高等学校書道部パフォーマンス」…204人
オープニングイベント…253人（9/17）、247人（9/23）
メインイベント「国際音楽交歓コンサート2023 高知公演」…604人
「第52回高知県文芸賞」…695人（1,850作品）
◆助成事業「KOCHI ART PROJECTS 2023」
…13事業実施・3,084人
◆共催行事　16行事実施・66,085人
◆協賛行事　49行事実施・62,351人

第73回高知県芸術祭 概要

◆芸術祭とは

広く県民が芸術に親しみ、また高知の文化芸術の魅力を再発見、発信する期間

◆高知県芸術祭の方針

①子どもから大人まで広く県民が様々な文化芸術に親しみ、
　生涯にわたって文化芸術に親しむ機会を創出する
②地域文化の伝承と創造を支援し、地域活力を創出する
③県内各地域に賑わいを創出し、“活力ある高知県”を目指す

開催期間　**令和5年9月16日（土）～12月17日（日）**
主　　催　**高知県・公益財団法人高知県文化財団**
主　　管　**高知県芸術祭執行委員会**
後　　援　**NHK高知放送局・高知新聞社・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ・KCB高知ケーブルテレビ・エフエム高知**

令和5年度第73回高知県芸術祭 日程表

５月８日　「KOCHI ART PROJECTS 2023」募集チラシ・要項 発送（締切：5月31日）
　　芸術祭参加団体募集のご案内 発送（締切：8月24日※ガイドブックへの掲載を希望する場合は7月6日）
６月15日　第1回高知県芸術祭執行委員会およびKAP審査会（高知県立美術館・2階会議室）
　　＜議　　題＞令和４年度文化芸術振興ビジョン推進事業等委託業務収支決算について
　　＜報告事項＞芸術祭の進捗状況について※執行委員会終了後、KAP一次審査会を開催
６月20日　第52回高知県文芸賞作品募集チラシ 発送（締切：9月29日）
８月23日　芸術祭公式ガイドブックおよびポスター 発送
８月27日　プレイベント『土佐女子中学高等学校書道部パフォーマンス』
９月11日　第2回高知県芸術祭執行委員会（高知県立美術館・2階会議室）
　　＜議　　題＞助成事業「KOCHI ART PROJECTS 2023」の視察について
　　＜報告事項＞（１）共催、協賛行事の参加状況について
　　（２）芸術祭広報について
　　（３）「芸術祭オープニングイベント」等について
　　（４）今後の日程について
９月16日　第73回高知県芸術祭開幕
９月17日　オープニングイベント（高知県立高知城歴史博物館・北ステージ）
９月23日　オープニングイベント（高知県立のいち動物公園・入口ゲート前広場）
10月６日　『キョウエンのマ〆』（KAP助成事業）※11月5日迄（内、16日間）
10月９日　『スロヴァキア国立オペラ高知公演』（KAP助成事業）
10月10日　『国際音楽交歓コンサート2023 高知公演』（本山町プラチナセンター・文化ホール）
10月11日　メインイベント『国際音楽交歓コンサート2023 高知公演』（高知県立美術館ホール）
　　『土佐町の絵本「ろいろい」原画展』（KAP助成事業）※10月18日迄
10月18日　第52回高知県文芸賞審査会（高知県立美術館・2階会議室等）※10月23日迄（内、5日間）
10月21日　『KINMOKUSEI MUSIC FESTIVAL』（KAP助成事業）
10月28日　『土佐山田・あーとリンク vol.3』（KAP助成事業）※11月5日迄

11月18日　『限界集落コツモ・アート・プロジェクト2023』（KAP助成事業）※11月19日迄
　　『いきるアート展』（KAP助成事業）※12月16日迄（内、5日間）
11月19日　『Ukulele good meeting 2023』（KAP助成事業）
11月24日　『ふるさと四万十オペラコンサート』（KAP助成事業）
　　『富田克也×相澤虎之助 映像制作集団空族作品最新作「典座－TENZO－」上映会+トークショー』
　　（KAP助成事業）※11月26日迄
12月７日　『Art in Kochi Documentation～高知のオルタナティヴアートの変遷とアート共同体の再構築 2000-2023～』（KAP助成事業）※12月17日迄
12月９日　『劇団coyote高知演劇公演 竜の横顔』（KAP助成事業）※12月10日迄
12月10日　第52回高知県文芸賞表彰式（高知県庁・正庁ホール）
　　『高知の歌で生バンド歌謡ショー』（KAP助成事業）
12月17日　第73回高知県芸術祭閉幕
令和６年
１月21日　助成事業「KOCHI ART PROJECTS 2023」事業報告会（ちより街テラス3階 会議室1・2）
３月29日　第3回高知県芸術祭執行委員会（高知県立美術館・2階会議室）※予定

注）KAP … KOCHI ART PROJECTSの略称

芸術祭ポスター

オープニングイベントチラシ

メインイベントチラシ

文芸賞ポスター

助成事業
「KOCHI ART PROJECTS 2023」

令和5年度 第73回高知県芸術祭助成事業

KOCHI ART PROJECTS 2023

高 知 ア ー ト プ ロ ジ ェ ク ト

申請要項

対象となる事業

◎令和5年度高知県芸術祭開催期間中に実施されるもの

開催期間：令和5年9月16日(土)～12月17日(日)

◎営利、宣伝、特定の政治又は宗教活動を目的としないもの

※事前の準備等に係る費用も助成の対象となります。

※個人でも団体（NPO・実行委員会等）でも申請いただけます。

対象事業者

高知県内に事務所または活動拠点を有し、文化芸術活動を行う団体、個人が対象です。（県、市町村、県からの出資を受けている法人等を除く。）

審査項目

◎**事業内容の文化的・芸術的な質**：事業内容が文化・芸術的に評価できるか。

◎**事業の効果**：多くの県民に対して文化的影響力を持ち得、創造する文化芸術活動を促進できる内容か。

◎**地域への文化的貢献度**：その事業を実施することで、住民の文化意識の啓発や地域貢献等に資するか。

◎**事業の妥当性**：事業内容の構成に無理がないか、また、芸術祭の開催趣旨に沿うものか、関係者だけでなく、より波及する内容か。

◎**事業の実現可能性**：事業の実現のために具体的な事業計画が立てられ、助成金が効果的に使用されるか。

※また、「地域住民との連携」、「地域との文化・歴史的な密着度」、「新しさの提案」の3項目についても審査し加点を行います。

助成金額

上限額：1事業あたり30万円

※少額（10万円程度）での申請も可能です。

※審査会にて、提出された申請内容と申請額を勘案し助成額を決定いたします。

※過去に助成を受けたことのある団体も応募できます。

（幅広く助成するために、同一団体に対する助成の採択回数は、原則最大3回までとします。ただし、周年事業として特別なことを行う場合には、採択されることがあります。）

助成条件

◎**（公財）高知県文化財団が実施する他の文化助成金との重複受給をしないこと。**

◎**広報物等に指定クレジットを必ず記載すること。**
（記載のない場合は助成交付を取り消す場合があります。）
※指定クレジットは、芸術祭公式HPからダウンロードできます。

◎**高知県芸術祭執行委員会事務局が作成する広報物等への原稿作成協力ができること。**

◎**明確な会計経理を実施し、収支及び事業実施の証拠書類について領収書等を実施報告時に提出すること。**
※助成団体については、収支の詳細について確認をいたします。

◎**指定の様式により実施報告書を提出すること。**（事業終了後1ヶ月以内）
※採択された事業は高知県芸術祭執行委員等が視察します。

◎**後日開催予定の事業実施報告会に必ず参加すること。**
（令和６年1月21日（日）開催予定）
※報告会参加に伴う旅費等の費用は各自ご負担ください。

申請方法

申請期間内に、規定の申請書様式（第1号～3号）に必要事項を記入し、高知県芸術祭執行委員会事務局まで持参、もしくは郵送にてご提出ください。

※申請に際しましては、助成金申請の手引きをご参照ください。芸術祭公式HPからご確認いただけます。

※申請書様式は、芸術祭公式HPからダウンロードできます。

※申請書様式を送付希望の方は、下記問い合わせ先までご依頼ください。

※申請後、電話等によるヒアリング、追加資料の提出等を求める場合があります。

※過去採択団体の実施報告等は芸術祭公式HPに記載しております。申請にあたってご参照ください。

申請締切

令和5年5月31日（水） ※当日必着
（持参の場合は、17時まで）

選考方法

一次審査（書類選考）を行い、二次審査会（令和5年6月24日（土）予定）にて代表者等の出席のもとプレゼンテーションを行っていただき選定します。

結果は二次審査会後、全ての申請団体または個人に郵送にてお知らせします。

※一次審査のみで採択になる場合もあります。

助成金の交付

所定の請求書を受理した後、2週間以内に指定口座にお振込みします。

※助成金の交付の目的を達成するため必要があると認めた場合は、助成金の2分の1を超えない範囲で概算払も可能です。

選考結果

13団体・13事業の申請があり、全て採択となりました。

事業実施報告

※原則として、事業終了後に提出された実施報告書をもとに掲載しています。

キョウエンのマ

主催団体： キョウエンのマ

開催期間： 令和5年10月6日（金）～11月5日（日）
※金・土・日・祝のみ開催

会　　場： 晴と雲（高知市葛島3丁目1-3）

入場者数： 260人

事業の内容

高知県出身作家3名による、絵画・染色を主とした作品展示。主催者の祖父宅をギャラリーとして改装した民家を会場とし、3回の会期に分けて開催した展覧会の第3部。

成果・反響（お客様からの感想など）

3部構成での展示として開催したことで、3者の作品の変化や展覧会全体に対しての印象を評価する言葉をいただいた。またたくさんの方から、今後もこの会場で続けて展示を開催してほしいとの声をいただき、継続的に活動していくためのモチベーションアップにもつながった。

助成を受けたことによってできたこと

高知県芸術祭の助成事業として参加したことで、近隣住民への周知や理解が得られた。助成金により、展覧会フライヤーをこれまでより多く印刷し配布することができた。また、出展作家の負担を減らし、記録冊子の撮影や印刷、作品運搬費に充てることができた。

（助成額：10万円）

スロヴァキア国立オペラ高知公演

主催団体： スロヴァキア国立オペラ高知実行委員会

開催期間： 令和5年10月9日（月）

会　　場： 高知県立県民文化ホール・グリーンホール
（高知市本町4丁目3-30）

入場者数： 457人

事業の内容

スロヴァキア国立歌劇場が、令和5年に日本公演を行うに際し、高知公演を実施した。25年以上日本で公演を続ける中、四国での公演は実現していなかったこともあり、高知公演を開催した。本格的なオペラ公演ではなく、1部はオペラ「蝶々夫人」の名場面をダイジェストで上演、2部はオペラやオペレッタの名曲を歌う。質の高いオペラのエッセンスを、手頃な価格で楽しんでもらうという趣旨から、チケット価格は3,800円とした。

成果・反響（お客様からの感想など）

・高知で本物のオペラを鑑賞できる機会は少なく、日本公演に高知を入れてもらい有難い。高知のオペラ文化向上につながった。

・圧倒的なパフォーマンスに感動した。日本語での歌に涙している観客が何人もいた。

・肩ひじ張らず他の観客と笑顔を交わしながら楽しめた。

・チケット代3,800円以上の価値があり、料金が安く感じた。高知でオペラ公演が満席となるのは滅多にない。国際交流においても有意義だった。

助成を受けたことによってできたこと

・ピアノの選択や調律、音響や照明用のスタッフ人数や機器、小道具用の費用を削減することなく、舞台品質を維持するために必要な経費をかけることができた。
・委託費用のかかる複数のプレイガイドにチケット販売委託をすることができ、特に、ぴあ（ファミリーマート、セブンイレブンで購入可）に委託したことから、高知県内中心部以外からも動員できた。
（助成額：30万円）

土佐町の絵本「ろいろい」原画展

主催団体： 合同会社 風
開催期間： 令和5年10月11日（水）～10月18日（水）
会　　場： 土佐町郷土学習センター（土佐郡土佐町土居437）
入場者数： 約250人
事業の内容

令和5年3月に完成した土佐町の絵本「ろいろい」。土佐町とも縁の深い"絵描き"下田昌克さんと町の製作チームが約5年をかけて完成した絵本の原画15枚を町内外の方々が鑑賞できるように展示した。製作過程の喜びや苦労を伝えるトークショー、下田昌克さんに町の住民の似顔絵を即興で描いてもらうイベント「下田さんに描いてもらおう！」などを実施した。

成果・反響（お客様からの感想など）

町内をはじめ県内外から約250人の方が来てくださった。原画の前で皆さんに会話が生まれ、笑顔になっていたことが印象的だった。15日のトークショーは満員御礼の中、各原画の説明をした。来てくれたお客さまが「15枚全部の説明を聞いて、ああこれは私のことだ、私も同じことを経験してきたのだと思えた。来てよかった」と涙ながらに言ってくださった。伝えたいことが伝わったという実感があった。

助成を受けたことによってできたこと

当初考えていたよりも費用がかかった額代（原画の余白にモデルとなった人の名前を鉛筆書きしてあり、それが見える額に変更した為）と、絵を描いてくれた下田さんに東京から来てもらい、トークショーや似顔絵イベントを実施するための費用を補填していただけてありがたかった。
（助成額：30万円）

KINMOKUSEI MUSIC FESTIVAL

主催団体： HATHA TUMURI
開催期間： 令和5年10月21日（土）
会　　場： 海のバザール（幡多郡黒潮町入野2-6）
入場者数： 50人
事業の内容

黒潮町が有する美しい砂浜の入野海岸を望む「海のバザール」で開催した野外音楽フェスティバル。高知県内だけではなく、海外からもアーティストを招聘し、世代や地域、バックグラウンドを超えた多様な人々との交流の場を生み出し、また地元食材を使った料理の提供や自然素材を活用したワークショップなどを通じ、高知の豊かさについても再確認。さらには、マイバックやマイ食器の持参の呼びかけ、何度も使うことができる竹カップのプレゼントなど、サステナブルな取組も実施。イベント関係者や来場者を含め、高知の自然の魅力の再認識、未来へ自然を紡いでいくことへの意識の芽生えを期待した。

成果・反響（お客様からの感想など）

・黒潮町や幡多地域でこのようなアートな空間に触れることはなかなかないので良かった。
・町内だけではなく、町外や県外からのアーティスト、出店があって、地元と外の要素が混ざり合う機会になった。
・海を目の前に、服部さんによる環境のお話を聞くことができるのは、お話が入ってきやすい。
・海外のアーティストの演奏を生で聴ける機会は滅多にない。様々なつながりが感じられ、新しい要素が黒潮町に加わって嬉しい。

助成を受けたことによってできたこと

・普段幡多地域では接することのできない海外からのアーティスト等を招聘することができ、音楽を通じて文化的要素への接触の機会を設けることができた。
・音楽祭には欠かせない音響を外注し、プロに依頼することで海風の影響がある場所でもしっかりとした音を提供することができた。
・会場は自然の中としていたが、演者のステージにアーチを設置したりしながら、できるだけ自然を活かしながらも会場装飾を施すことができた。
（助成額：30万円）

土佐山田・あーとリンク vol.3

主催団体： 土佐山田・あーとリンク実行委員会
開催期間： 令和5年10月28日（土）～11月5日（日）
会　　場： ギャラリー樹下の舎（香美市土佐山田町東本町5-2-11）、かふぇ＆ぎゃらりーぐらんま（香美市土佐山田町東本町1-4-4）、ヒース（香美市土佐山田町134）、香美市立美術館（香美市土佐山田町262-1）、等
入場者数： 227人（ギャラリー樹下の舎）、275人（かふぇ＆ぎゃらりーぐらんま）、238人（ヒース）、378人（香美市立美術館）
事業の内容

アートを通じた地域活性を目指して発足した「土佐山田・あーとリンク」の3回目となる本事業では、香美市立美術館で開催される「染と織の表現」展に合わせ、土佐山田町内3つのギャラリーにて高知にゆかりのある作家による展示を同時開催し、4つのアート施設を結んだ。各施設を巡回する仕掛けとして、まち歩きマップの作成・景品付きスタンプラリー・図書館との連携企画などを企画し、まちを楽しみながらアートに触れる機会を創出した。近隣店舗への呼びかけで会期中に独自運営の日本画展を開催していただき、イベントを相互に盛り上げることができた。

成果・反響（お客様からの感想など）

約半数の方が昨年のリピーターとして参加。次回展示のリクエストや、期間延長など、様々な声をいただき、次回への期待が高まっていることを感じた。

助成を受けたことによってできたこと

昨年から1会場増え、4施設合同での展覧会を開催することができた。まち歩きマップ付パンフレットの作成や、4会場を巡るスタンプラリーによって、多くの方に各会場を巡ってもらうことができた。
（助成額：30万円）

限界集落コツモ・アート・プロジェクト2023

主催団体： 特定非営利活動法人 地域文化計画
開催期間： 令和5年11月18日（土）・19日（日）
会　　場： 安芸郡北川村木積集落
入場者数： 102人
事業の内容
木積集落内にある矢田邸と集会所をメインに、集落全体を会場に見立てて開催した。コツモ集落の歴史・文化紹介展示（パネルと映像）・木積穴窯焼（集落内の窯で制作した器等）の展示・木積の伝統的な料理（再現を含む）の提供・小山龍介写真展・藤田茂男写真展・ギターリサイタル（以上矢田邸）、スウェーデントーチ製作実演・トークイベント「コツモから限界集落の未来を考える」（以上集会所）。集落案内ツアー。
成果・反響（お客様からの感想など）
木積集落にゆかりのある方が多く来られた。木積に人がいなくなりつつある現状について、聞いてはいたものの実感がわかなかったが、この機会に来て状況を確認できた。木積に残って頑張っている人がいることを確認できた。木積でアーティストインレジデンスのような事業ができないかと思った。

助成を受けたことによってできたこと
草刈りなど事前の会場整備に必要な人手が足りない部分の仕事を、外部委託することができた。全国的な発信力のあるゲストを県外から迎えたトークイベントを開催することができた。イベントのラストのギター演奏に、実力のある演奏家を呼ぶことができた。
（助成額：30万円）

いきるアート展

主催団体： 一般社団法人 清水サーバ
開催期間： 令和5年11月18日（土）～12月16日（土）
※土曜日のみ開催
会　　場： 大津ギャラリー（土佐清水市大津795番地）
入場者数： 39人
事業の内容
【抽象絵画体験教室】10月3日から11月7日まで毎週火・土曜日の10日間（10/21を除く）、チラシ等により募集した土佐清水市周辺に居住する9名で、自由に絵を描く楽しさを体験するための抽象絵画教室を開講した。
【いきるアート展】11月18日から12月16日まで毎週土曜日の5日間、抽象絵画体験教室の作品展示会を開催し、12月2日には講師によるギャラリートークを実施した。
成果・反響（お客様からの感想など）
抽象絵画体験教室の募集に対しては、数多くの問い合わせがあり、10日間で3枚の作品を制作するという条件のため断念する人が多かったが、大津集落から4名、集落外から5名の参加者を得て、それぞれ作品制作を完了することができた。
それぞれの作品にも良い感想があったが、制作過程の動画に感動した声が寄せられた。

助成を受けたことによってできたこと
人口約40人の過半数が高齢者独居世帯であり、それぞれが孤立しがちな大津集落から絵画教室に4名の参加があり、集落内に新たな繋がりと賑わいづくりができた。
大津集落外からも絵画教室に5名の参加があり、世代や生き方が異なる人たちが集まって絵画の制作を通しての深い交流の場づくりができた。
参加者の多くが今後も絵画を描く意向を示し、アートによる生きがいづくりができた。
（助成額：27万円）

Ukulele good meeting 2023

主催団体： Ukulele good meeting 実行委員会
開催期間： 令和5年11月19日（日）
会　　場： Kanau（高知市帯屋町1-13）、帯屋町公園
入場者数： 67人
事業の内容
令和3年から始まった「Ukulele good meeting」も今回で3回目を迎えた。「ウクレレ」をメインとしたオンライン+リアルミーティングイベントを今年も開催。高知県外からウクレレ愛好家の皆さんも招いて、当日はウクレレ愛好家によるオープンマイク、参加者みんなでの合奏、Kyasライブや、マーケットを開催。「帯屋町公園」でも15時30分より仕上げのアンサンブル「夕暮れウクレレライブ」を実施した。
成果・反響（お客様からの感想など）
・ウクレレの音色に癒されました。初めて触って弾けて楽しかった。（ワークショップ参加者）
・日曜市やおびさんマルシェも楽しむことができ、ウクレレアンサンブルや演奏も楽しかった。高知にまた必ず戻ってきます！（県外参加者）
・たくさんの県外からの参加者の皆さんとご一緒できて有意義でした。高知のあれこれをもっとご案内したい。会場が狭かったかも。（県内参加者）

助成を受けたことによってできたこと
おかげさまで、公式グッズを今年も作成できた。楽譜・ムービー制作・講師への報酬などの支払い、また実行委員が作成するため無償や安価提供となりがちなウェブサイト制作・サーバー料も確保できた。
（助成額：10万円）

ふるさと四万十オペラコンサート

主催団体： なかむら音楽振興会
開催期間： 令和5年11月24日（金）
会　　場： 新ロイヤルホテル四万十・10階アステリア
（四万十市中村小性町26）
入場者数： 101人
事業の内容
バリトン、アルト、ピアノによるコンサート
1部：日本の歌
2部：オペラ

1部の最後に、森翔梧の母校である、中村小学校、中村中学校、中村高校の校歌も演奏。

成果・反響（お客様からの感想など）

・素晴らしい演奏、さすがでした。
・声楽の迫力に圧倒された。
・オペラの表情や声量に感動した。校歌がとても魅力的で嬉しかった。
・和気あいあいとした温かい演奏会でした。新しいホールで聴きたいと思った。

助成を受けたことによってできたこと

計画当初は、夜の一般公演のみでしたが、母校の校歌をプログラムに入れ、事務局と森翔梧とで学校訪問を重ね、学校の強い要望もあり2公演をすることになった。入場料見込みもあり、2公演できたのも助成金を受けることができたから実現できた。中村小学校では、子どもたちの素直な反応が多く演奏者にとっても貴重なコンサートになった。
（助成額：30万円）

富田克也×相澤虎之助 映像制作集団空族作品最新作「典座－TENZO－」上映会+トークショー

主催団体： 空族映画を高知で上映する会
開催期間： 令和5年11月24日（金）～11月26日(日)
会　　場： 真牧山長谷寺（香南市夜須町羽尾783）・
カフェ／アートスペースEquivalent（高知市朝倉丁354）
入場者数： 51人
事業の内容

24日（金）18時～
県内映像制作者を対象にしたワークショップ（オープニングトーク）
25日（土）11時～、18時～
『雲の上』上映+制作者によるトークショー
26日（日）14時～
『典座－TENZO－』上映+制作者・主演男優・長谷寺住職による討論会
「現代における仏教の役割について」

成果・反響（お客様からの感想など）

同一日程で県立美術館ホールやキネマMでも芸術系映画の上映があり、特に高知市会場は集客に苦戦したが、香川県より富田・相澤ファンが連日高速を飛ばして来てくれるなど主催者冥利に尽きることがあった。香南市会場は、映画ファンのほか、長谷寺の檀家の方々、羽尾の地域の方々や、チラシや新聞記事によって上映を知った、近隣の香南市他地区、香美市、南国市などからの一般の方々と理想的にばらけた客層が得られ、山寺での上映、地域への文化貢献、仏教を学ぶ機会の提供、上映作品のテーマなどに対して評価を得ることができた。映画を観たかったが26日に来ることができなかったので、再上映をとの声もあり。

助成を受けたことによってできたこと

・制作者（富田・相澤両監督）を高知にお呼びする費用の捻出。
・２会場での複数回の上映と付随イベントの実施。
・無名の個人が主催する事業でありながら、県による助成事業ということで多くの場所で信用を得ることができ、運営を比較的容易にした。
（助成額：30万円）

Art in Kochi Documentation ～高知のオルタナティヴアートの変遷とアート共同体の再構築2000-2023～

主催団体： Art nest YOMO
開催期間： 令和5年12月7日（木）～12月17日（日）
会　　場： Art nest YOMO（高知市北本町3-11-35）・Equivalent
（高知市朝倉丁354）
入場者数： 337人
事業の内容

高知の現代アートの歴史を振返り、コロナ禍で停滞した個々の活動や表現者を支えるネットワークの再構築を図るべくArt nest YOMOでのグループ展示・近隣民家を借りての石井葉子・宇田見飛天 両作家の個展の展示とワークショップ、EquivalentではJEANS FACTORYアートディレクターとして高知のアートシーンに30年余り深く関わる佐藤篤氏のトークイベントと、写真論・言語論等からの分析を制作の視点として再構築する深田名江ワークショップ企画を行った。

成果・反響（お客様からの感想など）

全体を通して高知の過去の記録や作品を振り返ることで、アート共同体の再構築のための接点の再確認と場づくりへの意識の声を鑑賞者や関係者から引き出す機会となった。Art nest YOMO近隣の会場として借りたアトリエやまさきは、大家のお爺様が20年前、中学校の美術教員を退職後に“近隣に開かれた人の集まるアトリエ”として機能させていた場所で、1月からは不登校支援の場として時々稼働していく計画があり、今後もアートの場として共同で活用していけたらと、具体的な共同体としての場づくりの話につながった。Equivalentでは、“作家の集まる共同アトリエ”として今後機能させていくという構想、年明けのトークの際に来られなかった関係者や、美術館・文化施設などに関わる人で再び集まる機会を作ること、アートペーパーの当時のつながりから、新年度以降に展示企画ができないかという話題、過去のオルタナティヴ拠点の中心的役割を担った高齢の作家を囲う会を行う構想など、そこから当時の記録を集めていく試みへの動きなどにつながり、ネットワークを刺激することができたのではないかと考える。

助成を受けたことによってできたこと

全体フライヤー2,000枚・宇田見飛天個展フライヤー500枚の配布をした他、小部数ながらA2ポスターを２拠点に設置し、会期後も同名でワークショップや部分継続企画などを行い記録の残りにくかった時期のデータや資料を集めていることを告知していくものとして大変有意義に活用できている。
フリーペーパー資料としてファイルで眠っていた状態から、展示用にマット額装を行えたことで、保存管理を考える機会ができた。今後も活用していきたい。今回はDocumentationとして記録を残すことがテーマでもあり、展示の冊子作成のほか、各作家自身で撮影した写真を集めていた形から、プロによる写真撮影を依頼したことで、より確かな形で記録することができた。
（助成額：30万円）

劇団coyote高知演劇公演 竜の横顔

主催団体： 劇団coyote
開催期間： 令和5年12月9日（土）・10日（日）
会　　場： ドラゴン広場（土佐市高岡町甲2116-3）
入場者数： 有料入場者30名・無料招待入場者12名・配信閲覧者10名

事業の内容

演劇と矢野絢子による演奏を交えた音楽劇であり、異国から伝わる幻の存在、竜が人に化けて、竜の横顔に似た土地に訪れる―おとぎ話のような神話のような、移民と土地の交流の演劇。
演劇に生演奏を加え高知の地域性と移住者の関係を比喩する怪談的演劇であった。

成果・反響（お客様からの感想など）

・ドラゴン広場で芝居が観られたことがすごい。
・まるで小説のようなお芝居でした。
・日常の空間で芝居が始まりいつの間にか雑音を忘れ物語に引き込まれた。

助成を受けたことによってできたこと

助成を受けられたことにより、お芝居ではあるが映像環境、配信の環境を整えることができた。役者も香川県高松から参加、高知に根ざした作品を試みつつ四国にも広がりを持てたと感じている。
（助成額：30万円）

高知の歌で生バンド歌謡ショー

主催団体： 南十字星
開催期間： 令和5年12月10日（日）
会　　場： 四万十いやしの里（四万十市下田3363）
入場者数： 約200人

事業の内容

幡多地域の住民が中心となって、歌、演奏、出し物、マルシェを実施し、地元住民のお客さんに楽しんでいただく企画。今年はNHKドラマ「らんまん」の影響で高知県が盛り上がりを見せたので、高知県にちなんだ楽曲の演奏にこだわって選曲した。生バンドによる迫力ある演奏、地元屈指の歌い手さんが素晴らしい歌を披露した。

成果・反響（お客様からの感想など）

アンケート結果やお客様の声などから、演歌をもっと多く聞きたかった、楽しく過ごせた、迫力があった、歌がうまかったとの声があった。次はいつどこでやりますか？といった問い合わせもあった。宣伝はポスター、チラシ、四万十市広報のみであったが、予想以上の来場があり、高齢者の方が多かったのは広報の効果と思われる。

助成を受けたことによってできたこと

通常の歌謡ショーでは、バンドメンバー、歌い手さんから参加費を集めて予算化していたが、今回助成金がついたことで、歌い手さんから参加費を頂くことなく、県外からのバンドメンバーの交通宿泊費、ゲストプレイヤー等への謝礼金も支払うことができた。
（助成額：30万円）

助成事業「KOCHI ART PROJECTS 2023」事業報告会

1. 期日　令和 6 年1月 21 日（日）　13 時 00 分～ 16 時 30 分
2. 場所　ちより街テラス 3F 会議室 1・2　（高知市知寄町 2 丁目 1-37）
3. 報告事業団体
   空族映画を高知で上映する会 / Ukulele good meeting 実行委員会 / スロヴァキア国立オペラ高知実行委員会 / 合同会社 風 / 南十字星 / HATHA TUMURI / なかむら音楽振興会 / 劇団 coyote / 一般社団法人 清水サーバ / 土佐山田・あーとリンク実行委員会 / キョウエンのマ 〆 / 特定非営利活動法人 地域文化計画 / Art nest YOMO
4. 次第

13:00　開会
あいさつ　高知県芸術祭執行委員長

≪助成事業報告　（13 団体）≫　（報告 5 分以内　視察委員評価 2 分以内　入れ替え準備等 3 分）

13:10　富田克也 × 相澤虎之助 映像制作集団空族作品最新作「典座―TENZO―」上映会＋トークショー
13:20　Ukulele good meeting 2023
13:30　スロヴァキア国立オペラ高知公演
13:40　土佐町の絵本「ろいろい」原画展
13:50　高知の歌で生バンド歌謡ショー
14:00　KINMOKUSEI MUSIC FESTIVAL
14:10　休憩（10 分）
14:20　ふるさと四万十オペラコンサート
14:30　劇団 coyote 高知演劇公演 竜の横顔
14:40　いきるアート展
14:50　土佐山田・あーとリンク vol.3
15:00　キョウエンのマ 〆
15:10　限界集落コツモ・アート・プロジェクト 2023
15:20　Art in Kochi Documentation
～高知のオルタナティヴアートの変遷とアート共同体の再構築 2000-2023 ～
15:30　休憩（10 分）

≪　交流会　≫

15:40　交流会
4組に分かれ、10 分ごとに入れ替わりながら、4回の交流を行った。
名刺交換や自己紹介、今回の助成事業のこと、日ごろの活動、今後やってみたいこと等を相互にお話しいただき、団体間の交流の場とした。
16:20　総括
16:30　閉会

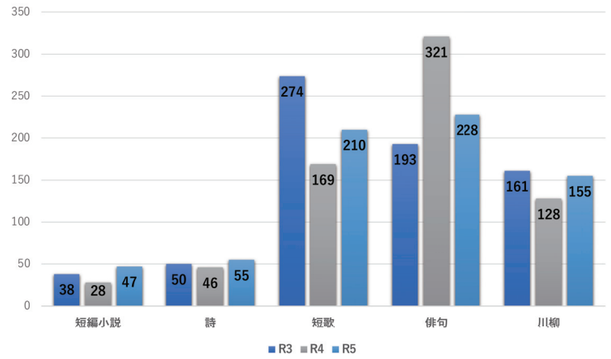
交流会の様子

第52回高知県文芸賞

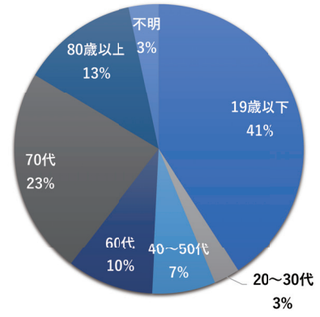
応募状況と入選者数

	応募総数	応募人数	文芸賞	文芸奨励賞	佳　作
短編小説	47編	47人	1	2	2
詩	55編	55人	1	5	5
短　歌	470首	210人	1	5	5
俳　句	717句	228人	1	5	10
川　柳	561句	155人	1	5	10
合　計	1,850作品	695人	5	22	32

部門別応募人数の推移（過去３年）



年代別応募者の構成（令和５年度）



表彰式

開催日：令和５年12月10日（日）
会　場：高知県庁・正庁ホール ※表彰式への出席は、文芸賞・文芸奨励賞受賞者

副　賞

文　芸　賞　表彰状、図書カード、牧野富太郎関連商品詰め合わせ
文芸奨励賞　表彰状、牧野富太郎関連商品詰め合わせ
佳　　作　表彰状、図書カード

第52回高知県文芸賞受賞者一覧

部門	賞	氏名またはペンネーム	題名（ただし、短歌、俳句、川柳は作品）
短編小説	文　芸　賞	吉岡　稚菜	またね
	文芸奨励賞	永野　和美	草原の絵葉書
		田中　健二朗	庭
	佳　　作	川村　智保	合歓の木
		安藝友　知史	結婚とは
詩	文　芸　賞	道願　正美	ふるさと流星群
	文芸奨励賞	おおたに　あかり	染める
		赤井　紫蘇	柿色の浴衣
		都築　悦子	繕う
		栗山　文子	ポコちゃんのたんじょうび
		浜田　健夫	泣いたやぎ
	佳　　作	宮本　泰子	九十五歳の挑戦
		宮地　令子	空蟬のように
		大野　充彦	虹
		青野　紀代美	言の葉
		甫木　恵美	アサガオ
短歌	文　芸　賞	廣見　正子	戦争洪水飢餓猛暑星の悲鳴をきけと蝉鳴く
	文芸奨励賞	西原　時子	生きるのは食べることぞと嫗言ふ痩せ地に挑みて節太き指
		多田　蓮	このさきに何があってもくじけないだって僕には家族がいるから
		土居　修	潮騒を聴いてあなたは母となる日陰にビーチサンダルを干す
		高橋　ひかり	夏休み汗でびっしょり合唱部がんばりの汗キラリと光る
		池田　育子	コンバインの爆音ならよし炎天の終戦記念日稲刈り始む
	佳　　作	松岡　美代子	父の声母の声するダイヤルの電話機今も生家に座る
		中山　恭子	乗り過ごししことには触れず留守番の夫を労(ねぎら)ひ夕餉作りぬ
		浜崎　萌々香	運動会放送係やりきった言いまちがえてこうかいもした
		山下　和代	背にリュック胸に子を抱き傘をさし雨の歩道を渡る母親
		大和田　奈都	居残りの短歌作りの教室の電波時計はゆっくり回る
俳句	文　芸　賞	川戸　右京	春の風弥勒菩薩の吐息かも
	文芸奨励賞	澤村　正彦	蜉蝣やこの世かの世をゆきもどり
		田村　乙女	蚊遣してこの世に父も母もなく
		田村　土木	生きてこそ灯る門灯つづれさせ
		山崎　葉	窯を出て秋風を聞く壺の耳
		鈴木　優那	ドカーンと山からのぞく遠花火
	佳　　作	栗坂　昌宏	虫売りの椅子に古りたる資本論
		藤原　佳代子	羊水のごとき水引く植田かな
		露口　奈津子	昭和史のひとつに飯が饐えたこと
		駒木　基克	もう水にほとほと飽きて水中花
		中平　キリン	今生のいまおもしろく青瓢
		德廣　由喜子	大根蒔く畑にもありし設計図
		山﨑　鈴子	訃がこつと色なき風に迷ひ来て
		尾﨑　淳	穭穂に身の丈ほどの虚栄心
		小笠原　龍一	めざましの音より早くセミの声
		川原　夏梨	木々ゆらすいたずら好きな春の風
川柳	文　芸　賞	山岡　陸宏	源流が同じ滴の清と濁
	文芸奨励賞	大野　早苗	わたくしを我等にさせる助詞がある
		渡邊　ゆかり	ワンス・ア・イヤー命燃やせとツガニ汁
		岡林　裕子	大丈夫傘は家にも二つある
		冨士田　三郎	曜日なき独居へ届く遠花火
		池　瑞依	遠花火だけど心臓ゆれ動く
	佳　　作	近藤　真奈	面取りをすれば時間も柔らかく
		藤村　るみ	金平糖不思議な角のものがたり
		大野　充彦	別れゆく昨夜の歩調好きだった
		森乃　鈴	靡くしかないと考え葦になる
		明神　永子	針金の捻ったやつを忘れまい
		山﨑　光子	海月より気儘に浮いてキミは喜寿
		森下　菊	我らもう絶滅危惧種村の秋
		辻内　次根	夕暮れを引っ張ってきたオニヤンマ
		渡邊　和弥	上下と右と左に春の声
		北之園　心咲	白線とホイッスルの音(ね)風になる

プレイベント
「土佐女子中学高等学校書道部パフォーマンス」

開 催 日： 令和5年8月27日（日）
会　　場： 高知市帯屋町商店街1丁目
出　　演： 土佐女子中学高等学校書道部、大黒久美子（司会）
入場者数： 204人

芸術祭のPRを目的とし、プレイベントとして土佐女子中学高等学校書道部の中学２年から高校２年までの14人の生徒による書道パフォーマンスを開催しました。

１枚目は「信じた道を突き進み輝く未来を掴み取れ」、２枚目は「芸術への想いに火を灯せ」など、“芸術祭”をテーマに生徒たちが考えた力強い言葉や、柚や鳴子といった高知県らしい絵を書き上げました。パフォーマンスの感想を聞かれると、部長の中田さんは「最初は少し緊張しましたが、曲がかかるととても楽しくパフォーマンスを行うことができました。」と答えました。

会場を訪れた人々からは、BGMに合わせた手拍子や大きな拍手が送られ、大盛況のうちにイベントは終了しました。

両作品は芸術祭開幕日の９月16日から２か月間、帯屋町アーケードに掲げました。

第73回高知県芸術祭オープニングイベント

開 催 日： ①令和5年9月17日（日） ②令和5年9月23日（土・祝）
会　　場： ①高知県立高知城歴史博物館・北ステージ ②高知県立のいち動物公園・入口ゲート前広場
出　　演： ①吾北清流太鼓一番風・令和の風 ②弘浦　和・松葉川　健一・マスタージャック
入場者数： ①253人 ②247人

県内で活躍されているアーティストをお招きして、県内2か所でパフォーマンスを行っていただきました。高知城歴史博物館では力強く迫力のある和太鼓の演奏と、琴・三味線による繊細かつ音の揃った演奏を披露していただき、のいち動物公園では、アルファベットの文字から徐々に動物たちへと変化していく様を見れるライブペインティングやジャグリング、鳩やトランプを使ったマジックショーを行いました。両日とも天候にも恵まれ、多くの方にご覧いただくことが出来ました。

メインイベント「国際音楽交歓コンサート2023 高知公演」

開 催 日： 令和5年10月10日（火）・11日（水）
会　　場： 10日：本山町プラチナセンター・文化ホール　11日：高知県立美術館ホール
出　　演： ピアノ：オレグ・ポリャンスキー、ジュゼッペ・モドゥーニョ、フランチェスコ・チポレッタ
ヴァイオリン：アクマラル・ザンガジーナ　チェロ：ミロ・フェラッツィーニ
バリトン：グエン・カック・ホア　ソプラノ：スターシャ
入場者数： 604人

このコンサートは公益社団法人国際音楽交流協会が主催で、「全国地方都市に於ける新しいクラシック音楽ファンの発掘と育成」と「地方都市の公共ホール等の本格的活用と波及効果の創出」を目的とし、毎年9月～10月に全国10か所程度で開催されているものです。

高知県では平成28年、29年に「日露交歓コンサート」という名称で公演いただきました。また令和2年に本山町と高知市で開催する予定でしたが、コロナウイルスの影響で出演者が来日できなくなり、全公演が中止となりました。そして公演名は変わりましたが、一流の音楽家による演奏を、親しみやすいプログラムで聴くことが出来る無料コンサートという内容はそのままに、今回6年ぶりに本県で開催することができたのです。

10月10日、会場の本山町プラチナセンターには大勢の人が集まっていました。コンサートが始まると、ショパンやチャイコフスキー等の有名なピアノ曲の演奏が続き、ホアさんやスターシャさんの歌声が会場に響き渡りました。体を少し左右に揺らしてリズムをとる方や、目を閉じて音楽に浸っている方もいらっしゃり、アンコールの『ふるさと』『川の流れのように』が演奏されると、会場はとても大きな拍手に包まれました。

帰られる観客の声に耳を傾けると「ピアノが素晴らしかった！」や「心が落ち着く歌声やったねえ。幸せな気持ちになった。」など皆さんの興奮や感動の様子がこちらにも伝わってきました。「明日の公演も行きたい。」というお問い合わせも何件かいただきました。

翌日、県庁での表敬訪問で井上副知事から高知県を訪れた感想を聞かれると、「昨日訪れた本山町は、山々が広がる雄大な景色が美しく、またすぐ近くにコンサートホールがあり、そのギャップが信じられなかった。」や「カツオのたたきやお寿司などの魚料理がとても美味しい。」等、スターシャさんは答えました。その後、ザンガジーナさんとフェラッツィーニさんの演奏で『よさこい鳴子踊り』を歌ってくれました。

美術館ホールの公演では、エレジー・トリオ『ある建築家の思い出』という楽曲の演奏と、日曜市など高知の風景を映した映像とのコラボレーションを行いました。映像は高知で写真家としてご活躍されている長野自敬さんに平成28年の日露交歓コンサートの時に作成いただいたものです。リハーサルの際に、演奏と映像を合わせるのが非常に難しい様子でしたが、本番はピアノ、ヴァイオリン、チェロの息の合った音色が、映像と相まって非常に良かったとアンケートでも感想をいただきました。演奏が終わり、舞台袖でポリャンスキーさんとザンガジーナさんとフェラッツィーニさん、協会の本部長が「Perfect!」と互いにハグをしていた様子が印象に残っています。

またアンコールでは『よさこい鳴子踊り』を披露し、客席からは手拍子や「ヨイヤサノサノサノ」の掛け声が飛び交う盛況ぶりで、地方色豊かで素敵なコンサートとなりました。

◎共催行事

※記載内容は原則として事業実施報告書の記載に則しています。
※開催日（部門別）の順に掲載しています。　※芸術祭開催期間中の参加者数を掲載しています。

部門名	行事名	主催団体	日　程	会　場	参加者数（人）	行事内容と成果等
演劇	ヨーロッパ企画第42回公演 「切り裂かないけど攫いはするジャック」	高知県立県民文化ホール	10月11日（水）	高知県立県民文化ホール・ グリーンホール	413	１年ぶりの本公演を待ち望んでいたお客様も多く、チケットの売れ行きは先行予約段階から順調であった。当初予定していた席は完売のため、見切れ席を解放し対応。公演終了後は鳴り止まないカーテンコールの中、役者たちは出迎えられた。
美術	第27回高知県障害者美術展（スピリットアート）	高知県、高知県障害者美術展 実行委員会	10月６日(金)～10月15日(日)	高知県立美術館	3,382	867点の応募作品のなかから、289点を展示しました。独創的で感性溢れる作品の数々は、訪れた多くの人に感動を与え、障害のある方への理解につながっていることが感じられます。
	開館30周年記念展　そして船は行く	高知県立美術館	11月３日(金・祝)～12月３日(日)	高知県立美術館	5,768	高知県立美術館の開館30周年を記念し、すべての展示室を使用して、これまでに築き上げてきたコレクションの精華をご紹介した。30年間の「方舟」の航跡をご覧いただいた。
	石元泰博・ コレクション展「フォトセンターの10年」	高知県立美術館	11月３日(金・祝)～令和６年３月31日(日)	高知県立美術館・ 石元泰博展示室	3,865 ※12/17時点	本展１期では、過去に当館学芸員が寄稿した高知新聞の連載エッセイを元に展覧会を構成した。エッセイとともに作品を紹介することで、普段とはまた異なった角度からより深く石元作品に親しんでもらうことが出来た。
映画	KOCHI ADATAN film Festival 2023 ー高知あだたん映画祭ー	高知県立美術館	11月25日（土）・11月26日（日）	高知県立美術館ホール	156	昨年に続き2回目となった「高知あだたん映画祭」を、県内４か所（須崎市、安田町、大月町、高知市）で開催しました。美術館ホールでは、過去に開催した映画や舞台公演にちなんだ上映を行いました。
文芸	めざめる探偵たち ～文豪ストレイドッグス×高知県立文学館～	高知県立文学館	10月７日（土）～ 令和６年1月８日（月・祝）	高知県立文学館 ２階企画展示室	6,369	日本探偵小説の礎を築いた高知県出身の文学者（黒岩涙香・馬場孤蝶・森下雨村）を、約200点の資料とともに多彩な切り口でご紹介した。 今後も様々なアプローチで文学の魅力をお伝えしていきたい。
	第26回児童生徒文学作品朗読コンクール 県審査及び記念講演会	高知県立文学館	11月５日（日）	高知城ホール ４階多目的ホール	県審査出場者 23名 一般（観客）のべ 106名	県審査には、地区審査を経て選出された23名の児童生徒が出場し、実力を出し切った素晴らしい朗読を届けてくれました。また、特別審査委員の堀井真吾先生による記念講演会「言葉の魅力・声の力」は、声優・ナレーターとして活躍中の堀井先生が自身の体験を交えて声で表現することの面白さや作品選びについて講演。朗読も披露してくれ多くのお客様を魅了しました。
総合文化	企画展「高知公園150年　高知城 ～未来へ伝えたい地域の宝～」	高知県立高知城歴史博物館	9月16日(土)～12月10日(日)	高知県立高知城歴史博物館	14,344	高知城の公園化から150年の節目を記念した企画展として、築城から焼失・再建、さらに廃城・公園化までの歩みを振り返った。関連行事の記念講演会や見学会等とあわせて、県民等多くの方々に高知城の歴史と魅力を改めて紹介できた。
	企画展II　発掘！古代の土佐	高知県立埋蔵文化財センター	10月８日（日）～令和６年３月31日（日）	高知県立埋蔵文化財センター ※講演会の会場は、南国市 地域交流センターMIARE！	908	展示観覧のほか関連行事を行い、10/8(日)にギャラリートーク（11名）、12/10(日)に講演会（86名）を開催した。また、県外からの観覧者もあり、多くの方の地域の歴史に対する興味と関心の高さをうかがえた。
	特別展「龍馬の真髄」展	高知県立坂本龍馬記念館	10月13日（金）～令和６年１月８日（月）	高知県立坂本龍馬記念館	27,792	近年、新たな龍馬関係資料が当館の所蔵となり、当館は龍馬の殿堂へと大きく前進しました。これらの新資料と、これまでに収集してきた龍馬関係資料を一堂に展示し、龍馬の志や人間性を読み解き、龍馬の真髄に迫る企画展を行いました。
	古代ものづくり体験教室 （ガラス勾玉づくり・土器づくり）	高知県立埋蔵文化財センター	ガラス勾玉づくり：10月22日（日） 土器づくり：12月17日（日）	高知県立埋蔵文化財センター	ガラス勾玉28 土器38	参加者は古代の人々のものづくりの知恵や技術に感心するとともに、自分の手で作ることの難しさや作り上げる満足感を感じていた。もう一度挑戦してみたいという感想も多く得られた。
	連続講演会 「さまざまな立場からみる幕末の京都」	高知県立坂本龍馬記念館	第３回：10月28日（土） 第４回：12月９日（土）	高知県立坂本龍馬記念館	のべ80	連続講演会「さまざまな立場からみる幕末の京都」の第三回は「「幕府高官『京都所司代』再考」を、第四回は「岩倉具視と幕末の公家社会」をテーマにした講演を行い、参加者からは好評をいただきました。
	龍馬まつりin記念館	高知県立坂本龍馬記念館	11月12日（日）	高知県立坂本龍馬記念館	569	毎年坂本龍馬の誕生日11月15日に近い日曜日に、桂浜で「龍馬まつり」が行われます。当館でも「龍馬まつりin記念館」を開催し、開催中の企画展での特別展示解説や、紋服と袴を貸し出して「なりきり龍馬」撮影会を開催しました。

部門名	行事名	主催団体	日　程	会　場	参加者数（人）	行事内容と成果等
総合文化	第46回高知県高等学校総合文化祭	高知県教育委員会・ 高知県高等学校文化連盟	11月14日(火)～11月19日(日)	高知市文化プラザかるぽーと 他	2,200	高知県の高校生による総合文化祭が４年ぶりに制限なく行われた。テーマ「好きを生きる!天真らんまんに高く飛べ!」のように展示・舞台・競技の各部門において日頃の成果を発表し、多くの来場者を楽しませた。
	Bunkazaidanこどもクラブ2023 「クリスマスのグラデーションキャンドルを作ろう」	（公財）高知県文化財団	12月17日（日）	イオンモール高知1階・ セントラルコート	30	好きな色を組み合わせたり、飾りを選んだりと参加者の個性が出る作品を作ることが出来ました。今回のワークショップを通して、ものづくりの楽しさを感じてもらえたイベントとなりました。
	ウォーキングイベント史跡巡り	高知県立坂本龍馬記念館	12月３日（日）	須崎市内の史跡など	14	「ウォーキングイベント・史跡巡り2023　須崎史跡めぐり」と題し、建造160年の須崎砲台を中心に史跡巡りを行いました。史跡の案内は「すさきまちかどギャラリー」様にも協力いただき、参加者からは好評をいただきました。

◎協賛行事

※記載内容は原則として事業実施報告書の記載に則しています。
※開催日（部門別）の順に掲載しています。　※芸術祭開催期間中の参加者数を掲載しています。

部門名	行事名	主催団体	日　程	会　場	参加者数（人）	行事内容と成果等
演劇	声優が読む朗読劇　白昼夢・葉桜と魔笛	bell声優ゼミナール	10月1日(日)	La Seed Reve（ラシードレーヴ）（高知市はりまや町1丁目5-18 1F）	66	太宰治「葉桜と魔笛」、江戸川乱歩「白昼夢」を読む朗読劇を実施した。想定を遥かに上回る来場者に来てもらえ、満席で事業を終えることができた。声優たちの技により朗読や演劇とは異なる「朗読劇」の魅力を観客に伝えることができた。
舞踊・ダンス	Washi＋Performing Arts? Project vol.7「Kaji / 楮」	Washi+、La forêt（ラ・フォレ）	9月16日(土)	赤れんが商家(香南市赤岡町772-1)	246	3地域の劇場ではない会場にて開催することで、幅広い年齢層（未就学児～90代）の観客にご鑑賞いただくことができ、普段、劇場に足を運びづらい方にも文化芸術や主催者の活動に関心を持っていただくことができました。
	Modern Ballet Studio SPROUT 発表会	Modern Ballet Studio SPROUT	11月12日（日）	高知市文化プラザかるぽーと	730	第1部　アンパンマンワールド 第2部　アラジン 1年間の成果をお客様に観ていただくことができ、また温かい拍手をたくさんいただくことができました。
	Gailer Belly Dance 10th Anniversary 発表会	Gailer Belly Dance	11月18日(土)	土佐市複合文化施設つなーで	198	予想以上の方が見に来てくださり、大盛況で終わりホッとしています。新しい会場で快適にショーを進行できました。体調不良で出演できなかった方もいましたが、皆で楽しい発表会となりました。
	夢の饗宴　Special Ballet Gala in Kochi	豊永太優＆豊永桃子を応援する会	11月23日（木・祝）	高知県立県民文化ホール・オレンジホール	1,400	国内第一線で活躍するバレエダンサーと県内の４つのバレエ教室の生徒が出演しクラシックとコンテンポラリーの作品を上演。満員の客席から鳴り止まない拍手とブラボーの歓声が沸き起こり、生徒たちにとって頑張れば結果につながるという大きな経験となった。
音楽	午後の音楽会　第39回レクチャー・コンサート	高知音楽協会	9月23日(土・祝)	高知県立美術館ホール	130	出演者各自が曲の解説を行いました。回を重ねるごとに演奏も上達して会場の皆様との温かい交流につつまれ終了できました。ピアニストの切詰さんが怪我のため前田香織さんに変更いたしました。
	小松芙実 マリンバリサイタル Vol.4 ～恩師種谷睦子氏を迎えて～	小松芙実	10月1日(日)	夜須公民館・マリンホール	141	恩師種谷睦子先生をお招きして一緒に演奏をご披露したこと、数々のマリンバ作品をご紹介し、新たなレパートリーも数曲演奏させていただいたこと、作品や演奏・こちらの演奏会そのものを大変喜んでいただく事ができた。
	Dios Anthos Choir Decade Concert	Dios Anthos Choir	10月８日(日)	高知県立美術館ホール	70	当コンサートでは、合唱組曲「みやこわすれ」や朝の連続テレビ小説らんまんの主題歌「愛の花」など、様々なバリエーションの合唱曲を披露した。当日の観客数は約70人と決して多くはなかったが、無事に終演することができた。
	高知コンサート・グループ 第70回定期演奏会 "甲藤卓雄先生追悼コンサート"	高知コンサート・グループ	10月21日(土)	高知県立美術館ホール	330	今回の定期演奏会は、満席近くのお客様にお越しいただき大盛況となりました。また、故・甲藤卓雄先生へ捧ぐ、あたたかく美しい音楽に満ち溢れたステージとなりました。
	高知フライデーウインドアンサンブル 第40回定期演奏会	高知フライデーウインドアンサンブル	10月21日(土)	高知県立県民文化ホール・オレンジホール	985	吹奏楽3部構成のステージ 第1部：クラシックステージ 第2部：企画ステージ 新美南吉さんの「手袋を買いに」を朗読・吹奏楽・イラストで演出 第3部：ポップスステージ　の演奏会を行いました。
	第９回ヤマハジュニアピアノコンクール ～高知西部地区予選大会～	ジュニアピアノコンクール実行委員会	10月22日(日)	四万十市立文化センター・大ホール	30	幡多地域在住でピアノを学習されている方（～15才）に、ピアノ演奏の技術、表現力を競っていただきました。４名の方を二次審査（Web中四国大会）に推薦させていただきました。
	下八川圭祐記念　第47回高知音楽コンクール	（公財）高知新聞厚生文化事業団	11月３日(金・祝)	高知県立県民文化ホール・グリーンホール	150	県内唯一の総合的クラシック音楽コンクールで、今年は一般11名、高校生7名、合わせて18名の方から参加申し込みがあり、下八川賞2位2名、3位2名、高知音楽奨励賞3名の計７名が受賞しました。
	第31回高知県民謡まつり	高知県民謡協会	11月18日(土)	高知県立美術館ホール	100	民謡協会加入の５団体が参加し、三味線・尺八・太鼓に合わせて唄うオープニングに始まり、全国の民謡を中心にそれぞれの団体の特徴を活かした、三味線・尺八・太鼓の演奏やその伴奏で唄や踊りを披露しました。

部門名	行事名	主催団体	日　程	会　場	参加者数（人）	行事内容と成果等
音楽	宿毛市民合唱団　第56回定期演奏会	宿毛市民合唱団	11月23日(木・祝)	宿毛市立宿毛文教センター	190	新型コロナの影響で4年8か月ぶりの開催。合唱曲中心のプログラム、ゲストのマリンバ演奏ともに好評で、参加者からは「素晴らしい演奏会だった」「感動をありがとう」などの感想がたくさん寄せられた。（アンケート回収率79％、良かった・大変良かったと記した方93.3％）宿毛市内だけでなく幡多一円から来場者があり、次に繋がる大きな成果を得ることができた。
	都山流高知県支部 令和５年度　尺八定期演奏会	都山流高知県支部	11月26日(日)	高知市文化プラザかるぽーと・小ホール	110	「三曲演奏」を県民の皆さんに広くご紹介することを目的に開催しました。演奏曲は尺八曲が4曲、糸方との合奏曲が9曲、合わせて13曲としました。絃方のご協力も得て内容のある演奏会になったと思います。
	高知交響楽団第171回定期演奏会	高知交響楽団	11月26日(日)	高知市文化プラザかるぽーと・大ホール	482	「生で聞くオーケストラに非日常を感じ癒された」「力強い演奏で感動した」など演奏会を心から楽しんだという意見をいただきました。
	高知コーラス合笑団　第62回定期公演	高知コーラス合笑団	12月10日(日)	高知県立県民文化ホール・オレンジホール	498	昨年の特別公演のお客様のアンケートに勇気をもらい、４年ぶりに定期公演を開催しました。４年間のマスク生活のうっぷんを晴らすかのように、マスク無しで公演しました。マスク無しは久しぶりなので少し恥ずかしい気がしましたが、昨年よりも100名ほど多くのお客様にご来場いただき喜んでもらいました。テーマもずばり「歌おう」として一生懸命頑張りました。
	クラシック・ファンタジー in 高知 メゾソプラノ 保多由子 ピアノ 中岡太志	虹色くじら 有志	12月16日（土）	高知市立自由民権記念館アトリウム	86	コンサートホールではなく、演者と観客の距離が近い環境で演奏を聞いてもらえたのがよかった。クラシック音楽や声楽を聴いたのは初めてといった方々も多くいらしたみたいだったが、素晴らしかった、またぜひ聴きたいといった感想を続々といただいた。
美術	第80回野並允温個展	いの町紙の博物館	8月30日(水)～9月24日(日)	いの町紙の博物館	2,881	野並氏の米寿を記念した展示会であり、高知県内で開催する最後の個展ということで、多くの来館者があった。土佐和紙への水彩画の描写も楽しんでもらうことができた。
	ササオカミホの宇宙　ひとりトリエンナーレ 「知覚曼荼羅ー土佐山の宇宙ー」	いの町紙の博物館	9月1日(金)～9月23日(土・祝)	いの町紙の博物館	2,607	和紙の原料である楮に着目したユニークな展示会であった。会期中には「楮サミット」と題し、公開座談会やワークショップなど、新たな視点で和紙を知ってもらうことができた。
	画家・片木太郎をめぐる人々	香美市立美術館	9月9日(土)～10月15日(日)	香美市立美術館	1,024	片木太郎の画業と、出会った画家たちとの交流について当館収蔵作品を通して伝えることができた。片木先生直筆の葉書コーナーを設置し、片木ファンをはじめ来館者が懐かしみ楽しめるとアンケートでも高評価でした。
	第32回のいち動物公園写真コンテスト作品展	（公財）高知県 のいち動物公園協会	9月10日(日)～11月５日(日)	高知県立のいち動物公園 どうぶつ科学館	9,998	写真コンテスト応募作品の中から、審査で選ばれた入選作品62点を展示しました。動物たちの一瞬の表情や動きを捉えた素晴らしい作品の数々をご覧いただき、多くの来園者の皆様に楽しんでいただけたと思います。
	第14回四国三郎吉野川源流・ 利水域交流美術展覧会	大豊町・本山町・土佐町・ 大川村並びに各町村 教育委員会、高知新聞社	10月6日（金）～11月23日（木・祝）	大豊町総合ふれあいセンター、 大川村山村開発センター、 本山町プラチナセンター、 土佐町保健福祉センター	461	今年も、吉野川下流域である香川県からの作品もたくさん出品して頂き、文化活動を通じた上下流域交流としての美術展が開催された。また４町村を巡回し、創作した優れた美術作品を一堂に展示、公開することにより、関係住民の美への関心を高めることができた。
	第12回高知国際版画トリエンナーレ展	土佐和紙国際化実行委員会	10月７日(土)～12月３日(日)	いの町紙の博物館	7,148	世界53の国と地域の692名から応募された1,359点の版画のうち、入賞16点と入選100点を展示した。出品数の増加（国外）、和紙使用率の向上（国内外）が見られた。多くの方にご来場いただき、和紙・版画文化の普及に微力ながら貢献できた。
	第64回室戸市美術展覧会	室戸市・室戸市教育委員会	10月28日(土)～11月５日(日)	室戸勤労者体育センター	1,519	今年から「一般の部」と「小・中学校の部」を同時に開催。「一般の部」は131点出品で、洋画14点、日本画13点、書道26点、写真35点、彫塑・工芸・デザイン12点、陶芸22点、漫画9点。「小・中学校の部」は1,831点と、子どもから大人まで幅広い世代の展示、来場がありました。

部門名	行事名	主催団体	日　程	会　場	参加者数（人）	行事内容と成果等
美術	染と織の表現	香美市立美術館	10月28日(土)～12月17日(日)	香美市立美術館	1,418	染と織は、美術館では展示機会が比較的少ない分野でした。多くの方からの評価が、時間をかけて制作する手仕事の良さを皆様に伝え、日本の伝統工芸の良さを改めて鑑賞していただけた満足度の高い展覧会であったと実感しています。
	第20回記念高知連合選抜書展	安芸市・ 安芸市書道振興協議会	10月29日(日)～12月３日(日)	安芸市立書道美術館	537	高知県内15書道団体を代表する書家188人の個性あふれる多彩な作品が展示され好評であった。また、他団体のさまざまな作品を鑑賞することで、勉強の場としての評価も得た。
	「そして船は行く」によせて	現代企業社	11月３日(金・祝)～12月３日(日)	高知県立美術館内 カフェ・マルク	―	カフェ・マルクの前の池に大きな野外立体作品を１点展示しました。室内ではテーマに関連する作品（平面、立体）を10点展示しました。期間中、美術館に来られた方は否応なく目に飛び込んでくる野外作品を楽しんでいました。
	高知のこれから展	中土佐町立美術館	11月22日(水)～12月17日(日)	中土佐町立美術館	368	高知を拠点に制作を続けている16名の若手作家を紹介する展覧会を行った。当館での紹介が初となる作家も多かったため、今まで当館に足を運んだことの無かったお客様も多く見られ、美術館の存在を知ってもらう良い機会となった。作家同士の交流の場ともなり、それぞれの今後の活躍がますます楽しみになる展覧会になったと思う。
	夜の紙博ー光る森と水の音ー	いの町紙の博物館	11月23日(木・祝)・25日（土）・26日(日)	いの町紙の博物館	1,300	和紙と光をコラボレーションさせた作品を夜間開館で開催した。作品展示のほか、ワークショップの開催、オリジナルグッズの販売、フォトコンテストの開催など、様々な形で「和紙と光」に親しんでもらうことができた。
映画	シネマな夜VOL.281「テス」	シネマ・サンライズ	10月25日(水)	高知県立美術館ホール	127	ロマン・ポランスキーが1979年に監督した文芸大作の4Kリマスター版。(高知では2Kで上映)当時、フォトジェニックな美貌で話題になったナスターシャ・キンスキーの魅力が遺憾なく発揮されている。格調を感じさせる映像美も魅力。
放送	放送番組「はかせが植えたモノ ～草木の精　牧野富太郎の教え～」	株式会社 テレビ高知	9月20日（水）	―	―	進行役に俳優の菊川怜さん、ナレーター（語り部）に佐川町出身の声優小野大輔さんを迎えて制作した牧野富太郎博士の生涯を追ったドキュメンタリー番組。連続ドラマの影響もあり、視聴者からも好意的な意見を多数いただきました。
文芸	HAIKUTIME２ ～あつまりや！今こそ俳句をしようじゃないか～	『あつまりや！今こそ俳句を しようじゃないか』実行委員会	9月17日（日）	オーテピア高知図書館 Kochi startup base （高知市はりまや町1-2-12-1階）	58	参加者から「言葉が自由なのがわかった」などの声があり、保護者からも楽しく俳句を学べたと声をいただいた。即興句会ではほぼ全員が俳句作りにチャレンジしていた。ＡＩを使った俳句作りも新鮮だったと好評だった。
	しきなみ短歌の世界 初めての短歌教室	（一社）倫理研究所 家庭倫理の会・高知	11月３日（金・祝）	高知市立自由民権記念館・ 研修室	11	今回は、あえて人数を目的とせずに、初めての方にお声がけをして、スタッフ９名、初めての方11名（芸術祭のガイドブックを見て来てくださった方を含む）にて開催。皆さん短歌作りを楽しまれて、盛会の中、当日１名の入会があった。
伝統文化	本川神楽伝承500年記念祭	本川神楽保存会	11月５日(日)	いの町立 本川プラチナ交流センター	142	本川神楽伝承500年を祝い、４つの神楽の演舞を行った。伝統を受け継ぐ子供たちの舞姿に、多くの観衆が感動し、さらに次の500年に向かって、決意新たに力強く第一歩を踏み出すことができた。
	第16回さかわ・酒蔵ロード劇場2023	第16回さかわ・酒蔵ロード 劇場2023実行委員会	11月11日（土）	佐川町上町地区・ さかわ酒蔵の道一帯	4,832	コロナ以前と同様のイベントとして開催。招聘した創成期の作家と現在参加中の地元作家との競演が好評で、ＳＮＳ等に数多くアップされた。来場者は昨年より微増。
	秋季いけばな県展	高知県華道協和会	11月11日（土）・12日（日）	高知市文化プラザかるぽーと・ 第１・第２展示室	1,517	加盟17流派の会員、子弟により大小約120点の作品を展示しました。秋の花展ですのでそれ相応に秋を感じられる作品が多数出品されました。中には前衛的な作品もありご来場いただきました皆様には楽しんでいただけたと存じます。又、色鮮やかな子供達の作品も好評でございました。
	正曲一絃琴白鷺会　定期演奏会	正曲一絃琴白鷺会	12月９日（土）	高知市立自由民権記念館・ 民権ホール	80	高知県で生まれた華道士峰流の方に華を添えていただき、聴覚と視覚の両方で楽しんでいただきました。また一絃琴に興味を持ってもらうためにアニメ曲を取り入れ古典の曲とは対照的な音色、雰囲気も楽しんでいただきました。
	寿岳文章 人と仕事 展	いの町紙の博物館	12月16日(土)～令和６年２月４日(日)	いの町紙の博物館	94 ※12/16・17の ２日間の人数	昭和を代表する和紙研究家、寿岳文章の業績と同氏の和紙コレクションを展示した。全国の和紙コレクションを通して、土佐和紙の特徴などを伝えることができた。

部門名	行事名	主催団体	日　程	会　場	参加者数（人）	行事内容と成果等
総合文化	第19回四万十市文化祭	四万十市文化祭執行委員会	7月16日(日)～令和６年１月21日(日)	四万十市立文化センター　他	3,138 ※10/1-12/16の期間の人数	合計24団体の参加があり、ピアノ教室の初参加や、４年ぶりの参加となった高知県教育文化祭「幡多地区小中学校連合音楽祭」などもあり、事故などなく無事に終了した。田野川小学校体育館では、４年目となる６団体による合同展示を行い、３日間で延べ311名の参加があった。
	第18回香美市芸術祭	香美市芸術祭実行委員会	9月23日(土・祝)～11月26日(日)	香美市立中央公民館、 香美市役所、 プラザ八王子ほか	1,187	香美市芸術祭は香美市文化協会員をはじめとし、市内の児童生徒、一般参加者が、日頃の文化活動の成果を発表する場であると共に、各会場にご来場いただいた多くの皆様の文化芸術を通じた交流を深める場として盛大に開催されました。
	令和５年度　第52回高知県教育文化祭	高知県教育文化祭運営協議会	10月６日(金)～12月２日(土)	高知県立県民文化ホール・オーテピア・高知工科大学永国寺キャンパス・高知県中小企業会館・高知県立美術館・高知市文化プラザかるぽーと・高知県立高知丸の内高等学校・高知市立三里中学校・須崎市立市民文化会館・四万十市立文化センター・香南市夜須公民館(マリンホール)	12,378	今年度は、すべての行事をコロナ禍前の開催方法で実施しました。中でも音楽会やコンクール、各種作品展などについては、関係者だけでなく、多くの方々に来場してもらい、児童生徒にとって励みになりました。
	企画展「牧野富太郎が歩いた「国有林」 ～白髪山編～草花を巡る随筆とともに」	大原富枝文学館、 本山町教育委員会、本山町	10月７日（土）～令和６年３月31日（日）	本山町立大原富枝文学館	752 ※前期12/17まで	「高知林友」の記録から牧野博士の人物像と本山町での足跡を辿り、土佐の十宝山・白髪山の白骨林や根下がりヒノキについて紹介した。併せて草花を巡る大原の随筆を展示し、植物と共にあった嶺北の暮らしを紹介した。
	安田町芸能発表会	安田町文化協会	10月14日（土）	安田町文化センター	90	文化教室生を中心に延べ83名の方が出演しました。安田町文化協会会長は「発表会が楽しい一時となり、明日への活力、協働のまちづくりへ近づけるように取り組んでいきます」と開会宣言を行いました。詩吟や謡曲、日本舞踊など30演目が披露され、安田はまゆう合唱団の生演奏による明るい合唱で閉会しました。
	第28回宿毛市オールドパワー文化展と女のまつり	宿毛市教育委員会・ 宿毛市老人クラブ連合会・ 宿毛市文化協会	10月20日(金)～10月22日(日)	宿毛市立宿毛文教センター	286	文化展への作品出品数は92点。宿毛市老人クラブ連合会の積極的な活動に助けられ充実した内容となった。 最終日の女のまつり（芸能発表会）も出演者の元気いっぱいのパフォーマンスに観客も盛り上がり楽しいひと時でした。
	ウミノフォトフェスinカシワジマ2023	ウミノフォトフェス実行委員会	10月28日（土）	すくも湾漁業協同組合 柏島支所周辺	500	大月町の観光のイメージアップを図るため、大月町の観光資源を対象としたフォトコンテストを開催。フォトコンの授賞式に地元のおいしい食文化を伝える「里海市」や体験ブース、大月中学校吹奏楽演奏会、もち投げなども行った。
	放送大学高知学習センター　芸術文化祭2023	放送大学高知学習センター	11月４日(土)・５日(日)	放送大学高知学習センター	73	在学生や先生方などの作品の美術展覧会、いけばなや環境水分析のワークショップ、サークル・同好会による催しを実施しました。多くの方にご来場いただき、好評のうちに開催することができました。
	安田町文化祭	安田町文化協会	11月11日（土）・12日（日）	安田町文化センター	421	町内の文化教室生をはじめ、園児や小中学生、一般応募者の作品が多数展示されました。「親子で本を楽しむ日」として、絵本の読み聞かせに園児たちが楽しく参加し、工作教室では個性豊かな作品ができました。また、体験コーナーでは、大人から子どもまで多くの方が参加しました。このほか、日赤食堂のうどんやキッチンカーの軽食をたくさんの方に楽しんでいただき、賑やかな文化祭になりました。
	第29回 潮風のキルト展	特定非営利活動法人NPO 砂浜美術館	11月17日(金)～11月19日(日)	砂浜美術館 （高知県黒潮町・入野松原）	1,462	各地から応募のあった全106作品を松原へ展示。３日間のうち、17日と18日は雨模様で室内の展示になったが、19日のみ快晴となり松原での展示を見てもらえ、秋の砂浜美術館の風景を満喫してもらうことができた。

高知県芸術祭執行委員会　委員名簿

（任期：令和5年4月1日～令和8年3月31日）（五十音順・敬称略）

役　　職	氏　　名	所属職名等
委 員 長	新納　朋代	（株）テレビ高知メディア技術局 放送実施部長
副委員長	鎌倉　昭浩	（公財）高知県文化財団理事長
委　　員	上本　竹永	高知県文化協会事務局長
委　　員	大原　恵里子	高知県立県民文化ホール館長
委　　員	奥野　克仁	高知県立美術館副館長（学芸担当）
委　　員	織田　敦子	高知県立文学館学芸課長
委　　員	北村　真実	NPO法人こうち音の文化振興会理事長
委　　員	溝渕　博彦	NPO高知文化財研究所代表
委　　員	山口　隆広	（公財）高知県観光コンベンション協会 プロモーション部プロモーション課長
委　　員	吉岡　一洋	高知大学人文社会科学系教育学部門 地域協働学部 教授